

神ギ協

神奈川ギター協会

〒251-0045

藤沢市辻堂東海岸 3-9 FW310

川俣ギター教室内

Tel & Fax. 0466-36-7421

2012/7/28 発行

(編集責任者) 橋爪 晋平

第41回神奈川新人ギタリストオーディション

合格は、茂木 拓真さん、飯田 敏史さん、伊藤 円さん、仙田 雅子さん、道明 伸也さん、山田 雄太さんの6名



入賞者と入選者 濱田滋郎先生と共に

2012年6月24日(日)神奈川県横浜市磯子区民センター「杉田劇場」

写真とレポート:川俣 明

2012年6月24日(日)神奈川県横浜市磯子区民センター「杉田劇場」で第41回神奈川新人ギタリストオーディションが開催された。今回の応募者の数は、昨年と同じで、昨年度次点入選者1名を含む40名であった。また、今回はゲスト審査員として濱田滋郎氏に加わって頂いて主催者にとっても応募者にとっても心に残るオーディションとなった。予選開始時刻は12時30分で、予選の課題曲のF.ソル作曲「Op.25 よりメヌエット」と各自が予選自由曲として登録した3分以内の曲が演奏された。審査の結果、昨年の次点入選者1名を含む7名の予選通過者が選出された。本選開始前の西本悦子副委員長の予選の講評にあったとおり、課題曲F.ソル作曲「Op.25 よりメヌエット」では、古典の音楽形式やリズムの把握の仕方がしっかり出来ていない応募者が多くて残念だった。200年ほども前の音楽を表現するのであるから、現代の感覚だけでは対応できるわけも無く、それ相応の勉強や研究は当然必要な筈だ。ミスタッチが少なく演奏できればそれだけで予選を通過できるなどという時代は、この神奈川の新人ギタリストオーディションでもとうに終わっている。また、僅かであっても目立つようなミスタッチを出してしまった演奏については今回も、かなり厳しく扱われたようだ。当然のことながら、課題曲と自由曲の双方で、かなりの安定感を示さないと予選通過はなかなか困難となっている。本選は予定より遅れて17時40分からの開始で、課題曲のM.リョーベール作曲「アメリアの遺言」と、各自が本選自由曲として登録した6分以上10分以内の曲が演奏された。本選では今回も全体にハイ・レベルな演奏が続いた。残念ながら一名が自由曲で演奏時間6分まで届かず、失格となってしまった。本選の審査の採点

では、今回は、それぞれの奏者が得た最高点と最低点をカットして平均点を出して比較するという方式を採用した。結果として、それぞれの平均点で大きな差はなかったが、合格点(80点以上)を得た6名全員が入賞合格となった。これに伴い、本年度は次点入賞者は無しということになった。

以下に本選の演奏順に結果と評を記す。

1.鈴木文乃<入選>

予選自由曲:Op.20よりカプリス第2番、第5番(L.レニアーニ) 本選自由曲:セビリア幻想曲(J.トゥリーナ)

予選の時からそういう印象を得ていたが、年少者ゆえに指に力が無いのか、それとも楽器のせいなのか音が小さい。けっして聞こえないというわけではないのだが、他の本選出場者と較べると格段に小さい。それでも予選を通過してきたのは非凡な音楽表現と、素晴らしい指さばきと、堅実なテクニックが披露されたからである。本選の課題曲でも歌を良く理解して、情感たっぷりにメロディーを歌わせていた。小さいミスが見られたが演奏全体には大きく影響してこなかった。「セビリア幻想曲」ではラスゲアードも巧みで、速いパッセージも見事にこなしていたが、やはり音量全体の中が不足しているせいか、長く聞いていると、力強さや、骨太な音など、音楽表現としての幅を要求したくなってきてしまう。それでも全体としては堂々とした演奏であったのに、自由曲の規定の演奏時間に30秒ほど達せず失格となってしまったのは真に残念であった。次回に期待したい。また今後の研鑽、演奏にも期待したい。

2.飯田 敏史<入賞・合格>

予選自由曲:ファンシー(J.ダウランド) 本選自由曲:ドラマティック・ファンタジーOp.31(N.コスト)

しっかりして、美しい音色を持った奏者である。課題曲ではメロディーラインは良く表現されているのだが、更にもうひとつ自由度があれば、と惜まれた。途中、メロディーラインにミスが出て目立ってしまった。曲の最後の部分のフォルテは結局無視されてドラマチックな表現には至らなかった。「ドラマティック・ファンタジー」では使われる各弦の特徴を良く把握していて表現の中も広く、各パッセージの活かし方も巧い。速い部分はスリリングな面白さも紡ぎ出していた。よく弾き込まれた安定感のある演奏であったが、まれに音程が不安定な箇所が見られたのは残念なので工夫してもらいたい。後半は少し疲れが出たのか僅かながらミスが出てしまった。しかしながら演奏全体は堂々としていて、美しい音色とあいまって、なかなか魅力的な演奏を展開していた。

3.伊藤 円<入賞・合格>

予選自由曲:日本のポルカ(J.バルベルデ-F.タレガ) 本選自由曲:思い出(S.アサド)、スケルツォ・ワルツ(M.リョベート)

たっぷりと透明感のある音色を持っている。その強みを生かして課題曲では歌を歌として聞かせるあと一步の工夫が欲しかった。ギター演奏としてのメロディーを超えた歌わせ方にも大胆に取り組む必要のある難しい曲ではあるが、なんとなく3拍子に乗った演奏に聞こえてしまったのが残念だった。「思い出」は、全体をふわ〜と柔らかく歌わせていて好演だった。ただ消音技術にいまひとつ問題があるのか、なんとなく余計な音も聞こえていた。必要な音、不要な響きを見極めるというのも今後の課題であろうか。「スケルツォ・ワルツ」では曲の面白さをよく理解していて、技術的に難度の高い箇所や長い音階もよく練習されているのか、安定感を感じさせた。今後は、更にもう一段階上の曲の面白さや感動を伝える演奏を目指して努力して欲しい。

4.茂木 拓真<入賞・合格>

予選:昨年度次点により免除 本選自由曲:ソナタより第3楽章、第4楽章(M.カステルヌオーボ=テデスコ)

課題曲は美しい音色で、しっかりと正確に演奏されていて、几帳面な性格を感じさせる。ただそれだけでは深い歌を持った曲の演奏としては平凡さを感じさせてしまうのではあるが、とにかく確実にまとも上げていた。ただ最後の部分のフォルテはやはり無視されていてキメを欠いていたと言えよう。「ソナタより第3楽章、第4楽章」で「第3楽章」は美しい音色でメロディーも

良く歌っている。古典的な感じで作られている部分も良く理解されていて雰囲気良かった。「第4楽章」では優れた技術で長く続く難度の高い部分も良くこなしている。音色の変化による部分部分の表現も見事なものだった。好演なのではあるが、いまひとつのドラマチックな演奏は期待できないだろうか。それには強奏部の音が少し痩せているように思われたので更なる工夫が望まれると思った。

5.道明 伸也<入賞・合格>

予選自由曲:はちすずめ(J.サグレラス) 本選自由曲:魔笛の主題による変奏曲 Op.9(F.ソル)

課題曲では歌を良く理解して歌心を感じさせる演奏だった。音量がやや不足している感じではあるが音色は悪くはない。良い意味で自由度を持った好演なのではあるが、やはり音量の少なさが影響したのか劇的な深い表現まではもう一步のところを感じさせた。「魔笛の主題による変奏曲」は技術的にも安定し無理なく落ち着いて演奏されていた。それでも胸のすく爽快な演奏とまではならないのは、やはり音量の問題であろうか。瑞々しい演奏ではあるのだが、時折、往年の名手の表現法のようなものが顔を出し、少し違和感を感じた。後半は少し弾きこぼしも出たが、まずはスピード感もある安定した演奏であったと言って良い。力強い音色と音量を身に付け聴衆を唸らせるような演奏を目指して研鑽を積んで欲しい。

6.山田 雄太<入賞・合格>

予選自由曲:BWV996 よりアルマンド(J.S.バッハ) 本選自由曲:椿姫幻想曲(J.アルカス)

予選の時には課題曲も自由曲も骨太なしっかりした良い音で演奏されていたのに、本選の演奏では何か抜け切らない音色になってしまったのは何故だろうか。また、強奏の部分は音が荒れ気味なところが散見された。課題曲は三拍子のリズムに乗った演奏で歌の曲というよりは楽器の曲というアプローチだった。結果、スッキリとした演奏ではあったが、冒頭でミスタッチが見られるなど、未だ未消化な印象が残った。「椿姫幻想曲」は曲の面白さも良く理解し、技術的にも不足の無い演奏であった。しかし、先述したように音がこもり気味で曲の持っている華やかさが表に出てこない。かなり高い実力を持っているのに本選では充分には発揮できなかったのではないだろうか。より多彩な音色や表現を身に付けて、素質の良さを生かして、より素晴らしい演奏者になって欲しいと感じた。

7.仙田 雅子<入賞・合格>

予選自由曲:プレリュード ホ長調(M.M.ボンセ) 本選自由曲:大聖堂(A.バリオス)

課題曲では歌を意識したメロディーを良く歌わせる演奏で曲の内容を良く理解した演奏であったと云える。冒頭で音をビリつかせてしまって大変惜しかった。しかし、とても感じの良い演奏で、もう少し力強さを感じさせれば完成というところであろう。「大聖堂」では全体に音色は美しいが、各々の音が今少し鳴らしきれていない。第一部は大変良い雰囲気であって奏されていたが、細かなミスタッチは痛かった。第二部はしっとりと表現されリズムも良い。第三部では優れたテクニックを披露したが、細かなミスタッチもあって聴衆を唸らせる域にまでは達しなかったようだ。しかし感覚の繊細さや、技巧の素晴らしさを持ち味とし、自分の演奏の完成度を上げていけば、大変期待できる奏者であると感じた。

	青沼 蓮子	川俣 明	西本 悦子	濱田 澄郎	石田 忠	井上 仁二	大橋 修和	岸 良久	音藤 泰士	志田 英利子	高久 敏春	橋爪 重平	堀井 善則	前場 俊介	森 淳一	合計	平均点		順位
鈴木文乃	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	入選	
飯田敏史	81	80	82	83	79	85	82		82	84		80		82	85	985	820833333	入賞	2
伊藤 円	79		86	85	82	83	79	78	83	77		78	*	78	79	967	805833333	入賞	3
茂木拓真	80	80	84	84	80	82	83	84	85		84	83	*		77	986	821666667	入賞	1
道明伸也	85	78	81	80	81	81	78	79	80	80		81		80	83	1047	805384615	入賞	4
山田雄太	79		83	82	77	84	80	81	78			82	79	79	78	962	801666667	入賞	5
仙田雅子	84		80	86	80		*	85	77	79	78	79	80	79	80	967	805833333	入賞	3

*第1順位は点を入れない空欄は最高点、最低点カット×は失格

本選採点表

合格者の言葉



茂木拓真さん

入賞を果たすことが出来て、とても嬉しく思います。演奏中に左手指にアクシデントが起こり取り乱してしまってミスをしてしまいました。そのような予想外の出来事を克服出来るよう訓練をしておきたいです。堀井義則先生をはじめ、沢山の方々に支えられて合格出来ました。ありがとうございました。

飯田敏史さん

予選・本選共に予期せぬミスが連発し、演奏中に何度も反省しました。結果、合格を頂き大変嬉しく思います。マナー良く聴いて下さったご来場の皆様、ご指導頂いた先生方に感謝申し上げます。有難うございました。



伊藤円さん

今回、合格というすばらしい結果に驚いていると同時に、大変うれしく思っています。ご指導いただいた堀井先生にはとても感謝しています。これからも力の続く限りギターを続けていきたいと思っております。ありがとうございました。

仙田雅子さん

初めてのオーディションで不安でしたが、仲間のフォローもあり何とか最後まで弾き終える事ができました。まだ信じられない気持ちですが、大橋先生の喜んだ表情を見る事ができ嬉しく思います。今後も精進して参りますのでよろしくお祈りいたします。



道明伸也さん

大学卒業後、某音楽関連企業に入社致しましたが「やはり自分も奏者として活動したい」と退社し、オーディションに臨みました。今回の結果に一安心するとともに大変感謝しております。今後も精進して参ります。

山田雄太さん

指導して下さいました先生方、並びに応援して下さいました方々のおかげで合格できたと思っております。当日は緊張しましたが、いい経験になりました。スタッフさんの進行もとてもスムーズでした、ありがとうございました。



新入会員

今回のオーディションの合格者から飯田敏史さん、伊藤 円さん、山田雄太さんの3名が入会しました。

お知らせ

◇神奈川ギター協会会員による真夏のギターフェスティバル

□2012/7/29(日)13時半開演 横浜みなとみらい小ホール □前売 2000円当日 2500円

◇2012年第41回神奈川新人ギターオーディション課題曲が決定しました。

[予選]「練習曲第19番(カルカッシ)」版自由 [本選]「前奏曲第1番(ヴィラ=ロボス)」版自由

次回委員会と暑気払いのお知らせ

委員会は8月16日(木)15時より、かながわ県民サポートセンター(横浜駅西口)1502号室にて行います。また、17時から涼み会を行います。出席希望の方は委員長または副委員長までご連絡ください。

コンサート案内をリアルタイムで紹介しています。神奈川ギター協会のホームページを訪れて下さい。

→<http://www.onyx.dti.ne.jp/~kana-g/> またはパソコンをお持ちのお弟子さん、御友人にお尋ね下さい。ホームページへのコンサート案内掲載は石田忠委員に電子メールで(または、なるべく字のはっきりした印刷物の郵送で)御知らせ下さい。尚、掲載は会員関係に限ります。

編集後記:夏といえばギターフェス!今年は神奈川ギター協会、真夏のギターフェスティバルイヤー!今回は5年ぶりの開催ということで、5年分のエネルギーを放出して熱く燃えたいところです。そして、オリンピックで夜更ししすぎないように頑張りたいと思っています。それでは良い夏をお過ごしください。(橘爪)